



## 2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月10日

上場会社名 株式会社幸楽苑ホールディングス 上場取引所 東  
コード番号 7554 URL <https://hd.kourakuen.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 新井田 傳  
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 渡辺 秀夫 (TEL) 024-943-3351  
四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 -  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績 (2023年4月1日～2023年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	13,063	3.1	△409	-	△421	-	△253	-
2023年3月期第2四半期	12,674	1.5	△688	-	△423	-	△1,071	-

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 △244百万円 (-%) 2023年3月期第2四半期 △1,062百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	△16.62	-
2023年3月期第2四半期	△71.20	-

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	11,076	1,276	11.5
2023年3月期	10,796	865	7.7

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 1,272百万円 2023年3月期 836百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2024年3月期	-	0.00	-	-	-
2024年3月期(予想)	-	-	-	-	-

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想 (2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,500	4.1	50	-	△150	-	△150	-	△9.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(2023年11月10日)公表いたしました「第2四半期業績予想数値と実績数値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照お願いします。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年3月期2Q	17,443,841株	2023年3月期	16,774,841株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	1,722,949株	2023年3月期	1,722,859株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年3月期2Q	15,278,556株	2023年3月期2Q	15,046,253株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(重要な後発事象)	8
3. その他	10
(1) 継続企業の前提に関する重要事象等	10
(2) 販売の状況	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2023年4月1日から2023年9月30日まで)における我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症の感染法上分類が5類に移行したことにより社会経済活動の正常化が本格化し、人流の活発化やインバウンドによる外国人観光客の増加のほか、個人消費及び企業の設備投資の持ち直しがみられ、景気は緩やかに回復しております。一方で、ウクライナ情勢の長期化に伴うエネルギー資源や原材料価格の高騰に伴う物価上昇、日米金融施策等の影響による円安の進行、更にはイスラエル・パレスチナ問題の勃発などにより、先行き不透明な状況が続いております。

外食産業におきましては、コロナ5類移行に伴いコロナ禍前以来となる各種催事の復活に伴う人流回復など消費者の行動はコロナ禍以前の状態に戻りつつあります。一方、継続する原材料費、光熱費、物流費の高騰、人手不足による人件費関連コストの上昇等、事業を取り巻く環境は依然として厳しい状況が続いております。

このような経済環境の中、当社グループでは経営方針として「原点回帰」を掲げ、業績のV字回復を達成するために『創業者精神の再注入』として「外食の原点である魅力のある商品作りとメニューの絞り込み」「全店舗のQSCの立て直し」「安全安心な食事環境の提供」を重点課題として取り組んでまいりました。

前述の施策として、5月にグランドメニュー改定を実施しました。メニュー数を絞り込む一方で、セットメニュー数を増やしセット価格とすることで価格訴求を行った結果、客単価が上昇しました。また、LINE等のSNSを用いた新メニューの告知を行い、テレビ番組等のメディアで幸楽苑が紹介されたこと、営業時間の延長に取り組んだこと等により、月毎の売上高及び客数は既存店前年比較において着実に増加しており、コロナ禍以降低迷した業績に回復の兆しが見られる結果となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は13,063百万円(前年同期比3.1%増)、営業損失409百万円(前年同期は営業損失688百万円)、経常損失421百万円(前年同期は経常損失423百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は253百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失1,071百万円)となりました。

また、当第2四半期連結会計期間末のグループ店舗数は、422店舗(前年同期比16店舗減)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであり、金額については、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んで表示しております。

## ① ラーメン事業

ラーメン事業においては、定番メニューのプライスライン絞り込み及びセットメニュー化を進めるとともに、「みそバターコーンらーめん」の復活定番化、「冷し中華(黒酢入り)」「ねぎ玉中華そば」「激辛マラーつけめん」「背脂牛肉つけめん」「冷し担担麺」「煮干しらーめん」等の期間限定商品を随時投入しました。さらに15時以降のメニューとして「ディナーセット」の販売を行いアイドルタイム以降の集客に努めました。

店舗展開は、採算性を重視し不採算店舗の撤退を行いました。その結果、店舗数は、直営店378店舗(前年同期比13店舗減)となり、業態別には「幸楽苑」372店舗、「幸楽苑 since1954+幸楽苑のからあげ家」6店舗となりました。

この結果、ラーメン事業の売上高は11,782百万円(前年同期比3.5%増)となりました。

## ② その他の事業

その他の事業は、フランチャイズ事業(ラーメン業態のフランチャイズ展開)、その他外食事業(洋和食業態の店舗展開)を行っております。

フランチャイズ事業は、店舗数は19店舗(国内12店舗、海外7店舗)となりました。その他外食事業は、「焼肉ライク」直営店11店舗、「焼肉食堂まんぷく」直営店1店舗、「からやま」直営店7店舗、「赤から」直営店4店舗、「餃子の味よし」1店舗、「VANSAN」1店舗となりました。

この結果、その他の事業の売上高は1,280百万円(前年同期比0.6%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて1,151百万円増加し、3,561百万円となりました。これは、現金及び預金が1,078百万円増加したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて872百万円減少し、7,514百万円となりました。これは、建物及び構築物が286百万円、土地が293百万円、リース資産が161百万円、投資その他の資産「その他」に含まれる保険積立金が114百万円減少したことなどによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて279百万円増加し、11,076百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて230百万円増加し、6,811百万円となりました。これは、買掛金が129百万円、短期借入金が500百万円、未払費用が165百万円増加し、1年内返済予定の長期借入金が384百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて362百万円減少し、2,988百万円となりました。これは、長期借入金が136百万円、固定負債「その他」に含まれるリース債務が121百万円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて131百万円減少し、9,799百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ410百万円増加し、1,276百万円となりました。これは、資本金が340百万円、資本剰余金が340百万円増加し、利益剰余金のマイナスが253百万円拡大したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想は、2023年5月15日公表の連結業績予想を修正しております。詳細につきましては本日(2023年11月10日)公表いたしました「第2四半期業績予想数値と実績数値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照をお願いします。

なお、連結業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,285,220	2,363,568
売掛金	551,142	608,868
棚卸資産	268,806	273,173
その他	304,428	315,832
流動資産合計	2,409,597	3,561,443
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,511,401	3,224,776
土地	1,363,012	1,069,901
リース資産(純額)	1,224,841	1,063,473
その他(純額)	287,943	318,706
有形固定資産合計	6,387,200	5,676,858
無形固定資産	140,366	130,157
投資その他の資産		
敷金及び保証金	1,458,883	1,440,507
その他	402,195	267,153
貸倒引当金	△1,380	-
投資その他の資産合計	1,859,699	1,707,660
固定資産合計	8,387,266	7,514,676
資産合計	10,796,864	11,076,119
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	782,676	912,051
短期借入金	2,300,000	2,800,000
1年内返済予定の長期借入金	1,058,778	674,400
未払費用	1,007,518	1,172,770
未払法人税等	40,503	41,183
店舗閉鎖損失引当金	19,518	15,236
転貸損失引当金	4,261	3,137
その他	1,367,696	1,192,960
流動負債合計	6,580,953	6,811,740
固定負債		
長期借入金	1,356,678	1,220,000
退職給付に係る負債	203,124	197,218
転貸損失引当金	8,220	6,013
資産除去債務	882,339	874,914
役員株式給付引当金	12,330	-
その他	887,933	689,989
固定負債合計	3,350,625	2,988,136
負債合計	9,931,578	9,799,877

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,988,273	3,328,459
資本剰余金	3,084,013	3,424,200
利益剰余金	△2,886,144	△3,140,025
自己株式	△2,383,218	△2,383,315
株主資本合計	802,923	1,229,319
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,265	5,422
退職給付に係る調整累計額	31,446	37,383
その他の包括利益累計額合計	33,711	42,805
新株予約権	28,650	4,118
非支配株主持分	-	-
純資産合計	865,285	1,276,242
負債純資産合計	10,796,864	11,076,119

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	12,674,538	13,063,253
売上原価	3,449,208	3,767,275
売上総利益	9,225,330	9,295,977
販売費及び一般管理費	9,913,730	9,705,182
営業損失(△)	△688,399	△409,204
営業外収益		
受取利息	1,008	774
固定資産賃貸料	85,415	67,885
新型コロナウイルス感染症による助成金	326,962	-
その他	54,898	59,254
営業外収益合計	468,284	127,913
営業外費用		
支払利息	33,318	42,722
固定資産賃貸費用	77,305	61,095
その他	92,856	36,375
営業外費用合計	203,480	140,194
経常損失(△)	△423,595	△421,485
特別利益		
固定資産売却益	-	208,118
賃貸不動産売却益	29,749	-
その他	39,733	63,633
特別利益合計	69,483	271,752
特別損失		
減損損失	72,023	56,131
店舗閉鎖損失	3,767	40,841
その他	30,797	38,155
特別損失合計	106,587	135,128
税金等調整前四半期純損失(△)	△460,700	△284,861
法人税、住民税及び事業税	22,720	22,400
法人税等調整額	587,940	△53,380
法人税等合計	610,660	△30,980
四半期純損失(△)	△1,071,360	△253,880
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	-	-
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,071,360	△253,880



## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純損失(△)	△1,071,360	△253,880
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,694	3,157
退職給付に係る調整額	11,092	5,936
その他の包括利益合計	8,397	9,093
四半期包括利益	△1,062,962	△244,786
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,062,962	△244,786
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年7月12日開催の取締役会において決議いたしました第三者割当による新株式発行に関し、2023年7月31日付で払込手続が完了いたしました。この結果、当第2四半期連結累計期間において資本金が340,186千円、資本剰余金が340,186千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において資本金が3,328,459千円、資本剰余金が3,424,200千円となっております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 3. その他

## (1) 継続企業の前提に関する重要事象等

新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴う人流回復、新メニュー投入による顧客への訴求等営業施策により、8、9月の既存店ベース客数は前年同月比100%を超過する状況となっております。この結果、当第2四半期連結累計期間において、売上高、営業利益ともに前年同期を上回っております。しかしながら、7月までの売上回復の遅れ、継続する原材料費、光熱費、物流費の高騰、人手不足による人件費関連コストの上昇により当第2四半期連結累計期間において継続して営業損失を計上しております。

この結果、営業損失が継続するとともに、当第2四半期連結会計期間末の流動負債6,811百万円は流動資産3,561百万円を大きく上回っていることから、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

このような状況に対して、第三者割当増資を行い自己資本の拡充を行いました。営業面では定期的な新メニューの投入、営業時間の延長による集客機会の確保、全店舗のQSC改善による顧客満足度向上、不採算店舗の退店による赤字削減、経費コントロールによるローコストオペレーション推進により営業損失を解消させる計画です。

以上の状況により、継続企業の前提に重要な不確実性は認められないと判断しております。

## (2) 販売の状況

## ① 品目別販売実績

(単位：千円)

品目	前第2四半期 自 2022年4月1日 至 2022年9月30日		当第2四半期 自 2023年4月1日 至 2023年9月30日		(参考) 前期 自 2022年4月1日 至 2023年3月31日	
	売上高	百分比	売上高	百分比	売上高	百分比
直営店売上		%		%		%
らーめん類	6,751,055	53.3	5,801,369	44.4	13,401,015	52.6
セット類	2,435,292	19.2	3,876,560	29.7	4,938,893	19.4
ギョーザ	781,526	6.2	677,703	5.2	1,503,486	5.9
ごはん類	524,257	4.1	426,579	3.3	1,027,910	4.0
ドリンク類	228,105	1.8	289,150	2.2	461,625	1.8
洋・和食類	765,498	6.0	714,107	5.5	1,527,310	6.0
その他	946,192	7.5	1,014,365	7.7	2,057,806	8.1
計	12,431,929	98.1	12,799,837	98.0	24,918,049	97.8
FC店等材料売上	219,679	1.7	208,795	1.6	492,157	1.9
ロイヤリティ収入	19,790	0.2	35,680	0.3	41,054	0.2
その他	3,139	0.0	18,939	0.1	10,591	0.1
合計	12,674,538	100.0	13,063,253	100.0	25,461,852	100.0

(注) 1. 数量は品目が多岐にわたり表示が困難なため、記載を省略しております。

2. 千円未満は切り捨てて表示しております。

## ② 地域別販売実績

(単位：千円)

地域別	前第2四半期 自 2022年4月1日 至 2022年9月30日			当第2四半期 自 2023年4月1日 至 2023年9月30日			(参考) 前期 自 2022年4月1日 至 2023年3月31日		
	売上高	百分比	期末店舗数	売上高	百分比	期末店舗数	売上高	百分比	期末店舗数
東北	4,387,957	35.3	139	4,619,663	36.1	136	8,857,201	35.5	137
関東	6,470,259	52.0	231	6,700,086	52.3	221	12,999,735	52.2	229
東海	479,833	3.9	15	459,944	3.6	14	966,365	3.9	15
北陸甲信越	904,864	7.3	33	828,846	6.5	29	1,708,628	6.9	30
関西	189,015	1.5	3	191,296	1.5	3	386,119	1.5	3
計	12,431,929	100.0	421	12,799,837	100.0	403	24,918,049	100.0	414

(注) 1. 上記の金額は、直営店売上についての地域別販売実績であります。

2. 千円未満は切り捨てて表示しております。